



箕面市立介護老人保健施設の理念

1、人権尊重

自己決定権を尊重し、安全を確保して医療・看護・介護・リハビリテーションサービスを包括的に提供します。

2、在宅復帰・在宅支援

住み慣れた地域で生活できるように家庭復帰と在宅生活の支援を行います。

3、地域福祉の推進と福祉文化の創造

福祉がいつでも、どこでも、誰でも権利として享受できるように支援します。

箕面市立介護老人保健施設
〒562-0014 大阪府箕面市萱野5丁目8番2号

指定管理者 箕面市社会福祉協議会
TEL 072-727-9530 FAX 072-727-3598

～新職員紹介～

令和4年7月～9月に入職しました。

- ・介護職員 1名
- ・事務職員 1名
- ・ケアアシスタント 1名

が新しく仲間となりました。よろしくお願いいたします。

オンライン面会の方法について～

- 1, オンライン面会方法：予約制（予約受付は、月曜日～土曜日の9：00～17：00）
LINE ビデオ通話による面会
- 2, オンライン面会可能日時：月曜日～金曜日までの13：30～16：30
土曜日・祝日は11：30～15：00
*日曜日はできません。
- 3, LINE 面会時間：10分程度
- 4, LINE 登録方法：LINE 公式アカウント（箕面市立介護老人保健施設）
公式アカウントを登録し「友だち追加」してください。

5, オンライン面会の流れ

- ①面会予約時間ご家族様よりLINE トーク画面に利用者名を入力し送信してください。（例）老健 太郎の家族です。
- ②老健より「通話リクエスト」をLINE トークに送信します。
- ③通話リクエストに「電話をかける」と表示されるため「電話をかける」をタップしてください。
- ④施設側が応答した後、ご家族様側LINE 画面で「ビデオ通話」をタップするとビデオ通話が可能になります。



—編集後記—

前号では、たくさんの新しい仲間が増え、今号もさらに新しい仲間が増えました。経験年数に限らず、教えたり教えられたりとお互い刺激を受けることも多く、雰囲気も少しずつ変化しているのではないのでしょうか。

箕面老健は、コロナにも負けず職員一丸となって頑張っております。オンライン面会も継続実施中です。不明な点は窓口までお越しくください。（文責：吉田秀幸）



～通所リハビリテーションより～

通所リハビリテーションでは、レクリエーションの時間に「リズム体操」を実施しています。「リズム体操」は、“りんごの唄”、“サザエさん”、“お嫁サンバ”等、懐かしい名曲に合わせ、皆さんで楽しみながら心と体の健康づくりを行っています。スタッフがエアロビクス風の振付けを考え、ご利用者様と一緒にスタッフも汗を流しながら楽しんでいます。

「ダンスみたいに踊れて楽しい。」「普段手が拳がりにくいけど、音楽に合わせて身体を動かすと手が拳がりやすくなるね。」「私はリズムに乗りやすいので楽しいです。あの人もものってるな～」とご利用者様の感想があり、ご好評いただいております。ご利用者様の中には、自宅でも「リズム体操」に取り組み、自ら振付けを考えて楽しまれている方もおられます。

今後もご利用者様が連帯感を感じ、運動や活動を楽しんでいただけるように取り組んで参りたいと思います。（文責：平野 利一）



～療養課フロアお好み焼き～

コロナ禍で大々的な行事ができない中で少しでも何か楽しんでいただけるものと企画し、2階フロアでは昼食にお好み焼きをフロアで焼いて召し上がっていただきました。テーブルを移動し準備を始めるとすでに興味を持って下さり、美味しそうな匂いがフロアに漂い始めると焼き上がりを待ちきれない方が続出、なかには焼くのを代わろうかと申し出る入所者もおられ、大盛り上がりとなりました。職員の即興の太鼓演奏も雰囲気盛り上げ、入所者も職員も共に楽しいひと時を過ごせました。



厨房スタッフのみなさんありがとう

ございました。



～療養課フロア天ぷら～

3階フロアでは、献立の中でも大人気メニューの一つである天ぷらをフロアで揚げて昼食に召し上がっていただきました。こちら準備の頃から期待のあまりそわそわする方や、天ぷらが揚がる音や香りに待ちきれず、早く持ってきてくれと訴える方などおられ、中にはビールが飲みたいと話す方もおられました。目の前でアツアツの天ぷらが次々に揚がっていく様子を見て入所者同士の会話も弾み、味覚だけでなく目や耳でも食事を楽しんでいただけたのではないかと思います。



アツアツの
天ぷらを揚げて下さり
ありがとうございました。



～箕面老健施設管理者：田中千足先生のコラム～



第2回：メダカの卵はこんなんです

まずご覧ください。ホテイアオイの根についているメダカの卵です。黄色い丸い粒です。みえているのだけで3, 40個数えられますね。われながら驚くのは12年もの間メダカを飼っていたのに、そしてメダカを増やしたい、だからメダカの卵がどんなものか見られるものなら見てみたいと結構必死になって卵探しをしていたのに、文字通り目の前にぶら下がっているメダカの卵に気づかなかったことです。

メダカ飼育法についていくつもの私の思い込みが宝の山に気付かせるのを遅らせたようです。

水道水は塩素が入っているからメダカには毒だ。メダカの水を頻繁に入れ替えはメダカに毒だ。緑藻が生えても濁ってきてもそれは自然でメダカには悪くないだろう。現にちっちゃな稚魚、針子が生まれたこともある。

でも大きく育ったのは年に2, 3匹程度でしたがね。そして水はどんどん濁っていきメダカの数もどんどん減ってしまいました。これではいけないといろいろ本も読み、メダカの卵の写真も見だし、ペットショップから棕櫚の産卵床も買って来たのに、卵に気がつかないのですね。産卵してないのだろうと納得させていました。実は親メダカが食べてしまっていたのですがね。

ところが去年YouTubeの動画で「メダカの産卵と孵化」というのを見ました。いろいろな人が出しています。やり方は多少違いがあるのですが、皆さんもの見事に孵化したメダカくんたちを見せてくれました。

ポイントは2つでした、親メダカ10匹ほどいる水槽にホテイアオイを入れること、翌朝そのホテイアオイを新鮮な水道水を入れた浅めのトレイに入れておくこと。これで水温×日数が350になると孵化してくるとあります。

こうしてどんどん孵化に成功しているわけですが、これも動画が私を落とし穴から引っ張り出してくれたおかげです。

断片的知識を全体の流れになるよう
繋いでくれたのですね。



* 次回は、どのようなコラムになるのでしょうか？

皆様お楽しみに～

